



熱戦!

6月2日、市民体育館、各中学校などを会場に、市中学校体育大会が開催されました。

天候にも恵まれ、スポーツをするには絶好の日和。午前9時からの開会式のあと、それぞれの会場で早速熱戦が繰り広げられました。

選手たちは日ごろの練習の成果を発揮しようと一生懸命のプレー。また、応援の生徒も自分たちの学校が得点すると、大きな歓声をあげて喜び、試合会場は若々しい熱気につつまれていました。

みんなの手できれいな街を

6月7日に市内の一斉清掃が行われました。

この日は朝からぐずついた天気でしたが、二百五十四団体、約九千人が参加。市内をきれいにしようということで各地区の皆さんが朝早くからごみを収集しました。収集したごみは市職員らの手で千屋崎の処分場に集められましたが、二トトラック六十台分にもなりました。

参加した皆さん、お疲れさまでした。



六月六日、前浜、久枝地区の後川、秋田川にかかる橋のたもとで初夏の風物詩「えんこまつり」が行われました。子供たちの水難防止を願って毎年行われている子供たちの祭り、子供たちははしろうぶを張り巡らした「ほこら」を作り、えんこぶの大好きなキュウリもみやお酒をお供えし、周りにちようちんを一つ飾ります。夕暮れになると、親子連れや子供たちが「水の事故から守ってください」とお願いし、たくさんの花火を打ち上げて夜遅くまで楽しんでいました。

初夏の風物詩



いつまでも

五月十五日、小野岩沼市長が市役所を訪れ、大町市長と懇談。南国ライオンズクラブ二十周年祝賀のため来高した。両市長は、「国内便をチャーターするなど、多くの市民の交流を図りたい。また、来年は姉妹都市締結二十周年、記念事業も考えたい。高知新港も関連産業、経済面でも多いに交流を」とがっちり握手。翌十六日には小野市長からプレゼントされた友好のあかしのサツキの苗を一緒に植樹しました。



備えあれば愁いなし

六月三日、二千人余りが参加して県総合防災訓練が、物部川橋上流の河川敷で行われました。今年もまた本格的な災害シナリオが近づいてきました。台風、地震などによる災害を想定、それに対処すべく参加者がさびきびと作業を、洪水の阻止、人命救助、ヘリコプターを使つての物資や患者の空輸など、本番さながらの大きかりな訓練が繰り広げられていました。



カメラリポート



待ってました

老朽化が進んでいた久礼田小に待望の新校舎が完成。5月24日に開校百周年記念とあわせて、落成式を行いました。

体育館で落成式典を行ったあと、真新しい校舎の前で児童や近所の人たちが参加してもち投げ。午後からは祝賀会を開き新校舎の完成を喜びあいました。

簡易保険郵便年金積立金還元融資を受け、総事業費三億六千四百万円。鉄筋二階建て延べ約千六百平方メートルの新校舎には理科室や図書室などの特別教室のほか、二百人の児童が入れる多目的ホールがあります。内部は木を使い温かみのある校舎になっています。



南国市は五月三十一日、30才、40才を対象とした記念検診を行いました。30才、40才と理もおそろき盛りだくさんで行いました。健康チェックもそのかになつて無理のではありません。健康チェックに訪れた皆さんは基本的健康診査や歯科検診など、自分の健康状態をチェックしていただきました。また、日頃の予防の大切さを字づきという事で、食生活改善推進員による成人病予防の試食なども行いました。

体大切に



ほたるまつり

「ほたるまつり」が、五月三十一日に物部川河川敷で行われ、約二百五十人の親子連れが参加しました。これは、ほたるのバトロールをしたり、ほたるの幼虫のえきになるな目を川にまいたり、ほたるを守り、増やすために普段から活動している「みんなほたるを守りましょう会」(笠原清一会長)が主催してまごから行つてつるもの。辺りが暗くなると、参加者はちようちんを手になぐの小川へ。最近あまり見かけなくなつたほたるの舞い飛ぶ姿に参加者はしばしば見とれていました。



いつまでも自分の歯で

歯の衛生週間にあわせて、六月八日から十日まで、市内各歯科診療所で一斉に「歯の無料健診」が行われました。百四十人の受診の申し込みがあり、希望の医院・日時で、虫歯・歯周病などのチェック、入れ歯、かみ合わせなどの相談や適切なブラッシングの方法などの指導を受けました。80才で20本以上の健康な歯を残す、8020(ハチマルニイマル)を目指し、今回受診できなかった人も、ぜひ年に一回歯の定期健診を受けましょう。